

学位申請における用語の統一について

対象語	統一表記	備考
cancer	がん	「がん」と「癌」の混在が多くみられるため
protein	タンパク質	protein、蛋白、タンパク、「タンパク質」と「蛋白質」の混在が多くみられるため
scoliosis	側弯症	従来側彎症と表記されることがあった（最近は側弯症）
cyst	嚢胞	のう胞
tyrosine	チロシン	タイロシン
insulin	インスリン	インシュリン
iodine	ヨウ素	ヨード、よう素

※ 組織の名称等、固有名詞についてはこの限りではない。例：〇〇癌学会

【基本方針】

欧文（単語を含む）は、その欧文を日本語に訳すと意味が異なったり、適切な日本語訳がない場合のみとし、それ以外は日本語（カタカナを含む）に訳すこと。

日本語訳は関連学会の用語集に準拠すること。

名前の付いた病名の日本語訳は関連学会の用語を使用すること。

略語は、なるべく用いないほうがよいが、用いる場合は正式名を本文中の初出時に記載し、括弧内に略語を記載することとし、その後から略語を用いること。

略語が分野の異なる研究者が見ても一般的と思われるもの（例：DNA）は最初から使用してもよいが、なるべく前記の方法をとること。

遺伝子・タンパク質の記載方法について（20230908追加）

- ・ヒト遺伝子はイタリック体で顕性は大文字（潜性は小文字）
- ・マウス・ラットはイタリック体で語頭のみ大文字であとは小文字
- ・タンパク質はいずれも正体で大文字（遺伝子名と同じ略語の場合）
- ・タンパク質のspell outはすべて小文字でよい

※ 学位論文中の表記の仕方が異なる場合も原則上記の記載法が望ましいため、論文と照らし合わせて可能な限り従うこと。

（参考URL）

https://staff.aist.go.jp/s-hanai/gene_name.html

<https://ja.wikipedia.org/wiki/遺伝子命名法>